

広
報

ひろの

2011. 9月号

平成23年9月1日 №69

伝統の灯籠流し

8月16日、お盆を締めくくる伝統行事「灯籠流し」が種子市漁港で行われました。ことしは、同漁港の津波被害による足場の悪さなどから、安全を考慮して例年より早い午後6時過ぎに流し始めました。参加者たちは、故人の冥福と家内安全を祈りました。



未来への道標

町総合計画

種市審議会意見書

町震災復興計画



町は7月28日、「洋野町震災復興計画」を策定しました。

同計画は、町の最上位計画である洋野町総合計画が町の将来像として掲げる「海と高原の牧場、人々がふれあい、心豊かに、いきいきと躍動するまち」のもと、震災からの復旧・復興の方向性を示す「未来への道標」です。

今回は、町震災復興計画の概要に合わせて、策定に向けて審議を進めている町総合計画後期基本計画の審議会委員の顔ぶれと役割、復旧・復興に向けた意見が盛り込まれた種市地域審議会からの町への意見書の内容などを紹介します（特集8ページまで）。

9月のイベント情報

第5回 町民体育祭

■日時 9月4日(日) 午前9時30分
 ■場所 種市運動場
 ■主な内容 100・800・1500メートル走、わんぱくレース、孫と一緒に、むかでレース、地区対抗最強リレーなど



畜産まつり

■日時 9月10日(土)
 ■場所 大野地区共同利用模範牧場
 ■主な内容 乳用牛・肉用牛の共進会、特産品販売など
 ■問い合わせ先 役場農林課(大野庁舎) 電話 77・2113



久慈平岳 秋まつり

■日時 9月17日(土)
 ■場所 久慈平岳山頂広場ほか
 ■主な内容 景品付きもちまき大会、芸能交流大会、久慈平岳リンピック(※1)、久慈平岳登山会(※2)など
 (※)は、申し込みが必要です。
 ■申し込み・問い合わせ先 (※1) 久慈平岳秋まつり実行委員会 村田 電話 77・3146、(※2) アグリパーク おおさわ 電話 66・2662



今月の目次 contents

- 特集 震災復興に向けた町の動き P 3-8
- 未来への道標 P 9
- ウニまつり大盛況 P 10-15
- 夏まつり P 16-17
- フォトトリポート P 18-19
- 本町選手が各種大会で大活躍 P 20-23
- 新成人223人未来への第一歩 P 24-25
- 各種お知らせ P 26-27
- まちの話題 P 28-29
- 生涯学習かわらばん P 30-33
- みんなの広場 P 34-35
- 暮らしに役立つ情報ファイル P 36
- 林郷小学校ヒーローの旅 P 37
- 四季彩ひろの P 38

表 2) 復興計画に掲げる 3 つの基本施策と主な事業

分類		主な事業（年度）
①町民生活の再生	生活支援の充実	応急仮設住宅団地建築事業（H23）、生活再建支援相談所の設置（H23～）、町税の減免など（H23）、被災者生活再建支援事業（H23～26）、生活福祉資金の貸付（H23～）、生活必需品提供事業（H23）、こころのケア訪問・相談事業（H23～）、水道施設災害復旧事業（H23）
	雇用対策と就業支援	町無料職業紹介所開設事業（H23～）、緊急雇用創出事業（震災対応分）（H23）、町新卒者ふるさと雇用促進奨励金（H23～）
	事業所の経営支援	小規模企業事業所等再建事業（H23）、中小企業小口融資資金利子補給事業（H23～28）
	J R 八戸線の復旧	J R 八戸線災害復旧事業（H23～）
②ウニの里と地域産業の復興	栽培漁業協会種市事業所の復興	（社）岩手県栽培漁業協会種市事業所災害復旧事業（H23～）
	ウニ増殖溝等水産施設の復旧	漁場災害復旧事業（H23）、採介藻漁業復旧緊急支援補助事業（H23）、さけ・ます生産地復旧支援緊急補助事業（H23）、漁場生産力回復整備事業（H23）
	ウニの里づくりの支援	たねいちウニ P R 事業（H23～28）、漁場再生補助事業（H23～28）
	八木魚市場の復興	八木魚市場環境整備事業（H23～24）
	漁港の復旧	港湾施設災害復旧事業（H23～25）、漁港施設災害復旧事業（H23～24）、被災漁港等がれき撤去事業（H23）、災害廃棄物処理事業（H23）
	水産加工業の復興支援	水産加工業等経営再建緊急支援事業（H23）、中小企業被災資産修繕事業（H23）
	漁協の復興支援	水産業共同利用施設復旧支援事業（H23）、水産加工業等経営再建緊急支援事業（重複）（H23）、漁業協同組合合併推進事業（H23～）
③災害に強いまちづくり	地域産業の振興	種市海浜公園エリア災害復旧事業（H23～25）、フィッシャリーナ施設災害復旧事業（H23～24）、ひろの体験交流推進事業（H23～）、農地・農業用施設災害復旧事業（H23）、被災農家経営再開支援事業（H23）、プロイラー価格差補てん事業（H23）、農業施設非常用電源確保対策事業（H23～26）、備蓄粗飼料確保対策事業（H25）、小規模企業事業所等再建事業（重複）（H23）、再生可能エネルギー発電施設導入促進事業（H23～）、町起業化支援補助事業（H23～）
	防潮堤の整備	防潮堤整備事業（H23～）
	水門・河川護岸堤の整備	河川災害復旧事業（H23～24）
	防災・避難施設の整備	町地域防災計画策定事業（H23～）、災害時非常用食料等整備事業（H24～28）、津波対策事業（H23）、八木地区津波避難対策事業（H24・H27）、防災行政無線復旧整備事業（H23～25）、八木地区防災拠点施設整備事業（H23～24）、平内地区防災拠点施設整備事業（H26）、防災井戸整備事業（H26～27）、災害時通信手段整備事業（H24～）、小中学校大規模改造等整備事業（H23～28）、大野体育館大規模改修事業（H24）、緊急地震速報システム等整備事業（H23～24）、携帯電話不感地域・ラジコ難聴地域解消事業（H23～）
	道路網の整備	道路橋りょう災害復旧事業（H23～24）、八戸・久慈自動車道整備事業（H23～）
	非常用電源の確保	非常用電源確保対策事業（H23～27）、再生可能エネルギー活用調査研究事業（H24～26）、太陽光発電設備設置費補助事業（H24～28）、農業施設非常用電源確保対策事業（重複）（H23～26）
	自主防災組織の育成強化	自主防災組織育成事業（H23～）
	震災記録の保存と継承	震災記録作成事業（H23）
	災害協定締結の推進	災害時相互支援協定の締結（H24～25）

図) 町震災復興計画の体系図

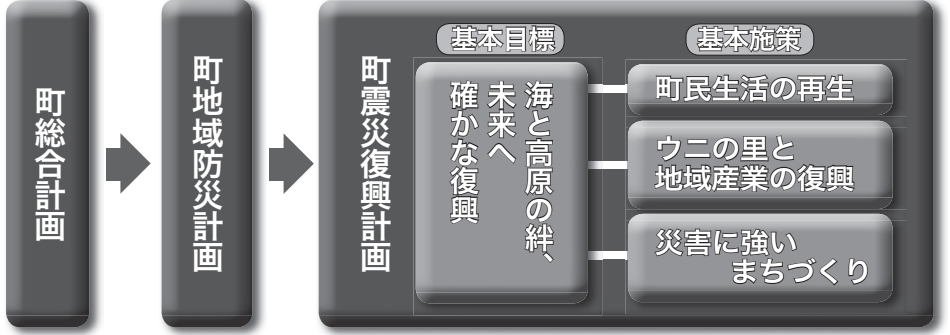


表 1) 洋野町震災復興計画の計画期間（年度）

	H23	H24	H25	H26	H27	H28
震災復興計画	復旧期 (H23～H25)					
			復興期 (H25～H28)			
総合計画	前期基本計画	後期基本計画 (H24～H28)				

町震災復興計画を策定

町は、東日本大震災からの復旧、復興に向けた「洋野町震災復興計画」を策定しました。計画の概要と、策定までの経過をお知らせします。

町は7月28日、「洋野町震災復興計画」を策定しました。この計画は、町総合計画と町地域防災計画に基づき、被害を受けた箇所を被災前の状態まで回復させる「復旧」とどもならず、被災前以上の発展を目指す「復興」を遂げる

ために策定したものです（上図）。町震災復興計画の期間は、平成23～25年までを復旧期、平成25～28年を復興期とする6カ年計画です（表1）。これは、平成24～28年度までを計画期間とする町総合計画後期基本計画と終期を合わせることで、上位計画との整合性を図りながら可能な限り短期間に復興を実現しようとするものです。また、毎年度、向こう3年間の実施計画を策定し、町総合計画の実施計画と併せて適切な進捗管理を行い、国や県がそれぞれ策定する復興計画との整合性を図るため、必要に応じて計画の見直しを行います。



記者会見で報道各社へ町復興計画策定の説明をする水上町長

今回の大震災に対して、「海と高原」が一体となり、住民同士の「絆」を一層強固なものにし、次代を担う子どもたちが希望を持ち、光あふれる「未来へ」歩み続けることができるよう、「確かな復興」を実現しなければなりません。これらを踏まえ、町震災復興計画では、**「海と高原の絆、未来へ 確かな復興」**を基本目標に掲げ、**①町民生活の再生****②ウニの里と地域産業の復興****③災害に強いまちづくり**の3つを基本施策としています。町は、この計画をもとに、早期の復旧・復興を目指します。町震災復興計画の主な事業は、次ページ表2のとおりです。

町震災復興計画策定までの経過

- 4月7日…ふれあい町長室（八木南地区センター）
- 4月8日…ふれあい町長室（有家地区センター）
- 5月18日…第1回町震災復興ビジョン原案作成会議（町復興計画の体系図を検討）
- 5月25日…第2回町震災復興ビジョン原案作成会議（町復興ビジョン原案の検討）
- 6月1日…第1回町東日本大震災復興本部会議（町復興ビジョン決定）
- 6月2日…第1回町震災復興計画検討会議（町復興ビジョン説明）、町議会議員全員協議会（同）
- 6月6日…町震災復興ビジョンの公表。6月24日までパブリックコメント（意見の公募）を実施（役場種市庁舎、大野庁舎、中野支所で閲覧、町ホームページに掲載）
- 6月20～23日…東日本大震災被災者アンケート調査（住宅の全壊・半壊などの被害に遭った41世帯が対象）

- 6月23日…ふれあい町長室（小子内地区センター）
- 6月27日～7月1日…震災復興に向けた懇談会（中学校区ごとに町内5会場で開催）
- 6月30日…第2回町東日本大震災復興本部会議（町復興計画（素案）検討）、第2回町震災復興計画検討会議（同）
- 7月5日…町議会議員全員協議会（町震災復興計画（素案）説明）
- 7月12～21日…町復興まちづくりに向けたアンケート調査（津波浸水想定区域内などの221世帯が対象）
- 7月21日…ふれあい町長室（役場種市庁舎。特定課題懇談会）
- 7月22日…第3回町震災復興計画検討会議（町震災復興計画（案）検討）
- 7月22～30日…町まちづくりアンケート調査（無作為抽出した町内の20歳以上2000人が対象）
- 7月28日…町議会議員全員協議会（町震災復興計画（案）説明）、第3回町東日本大震災復興本部会議（町震災復興計画決定）、町震災復興計画公表

種市地域審議会が町に意見書を提出



水上町長に意見書を手渡す高屋敷会長

種市地域審議会（高屋敷幸雄会長・委員10人）は8月22日、役場種市庁舎で水上信宏町長に意見書を提出しました。

種市・大野の両地域審議会はこれまで、任期である2年間を通して地域の特定課題について審議し、町に意見書を提出してきました。

提出してきました。しかし、3月に東日本大震災が発生したことから種市地域審議会では、町の復旧・復興を最優先課題と位置付け、より早期の復旧・復興を要望するため、当初の予定を早めて意見書が提出されました。

意見書の主な内容は次のとおりです。

- ▽早期復興に向けた復興財源の確保
- ▽町域防災計画の見直し
- ▽防災施設整備
- ▽防災教育・防災訓練の推進
- ▽自主防災組織の育成強化
- ▽水産業とその関連施設などの早期復旧
- ▽グリーンツーリズム事業などの展開による定住対策

町総合計画審議会委員の皆さん（敬称略）



委員 日影 永一
71歳・萩の渡・大野地域審議会会長



委員 高屋敷 幸雄
61歳・宿戸・種市地域審議会会長



副会長 中野 春男
67歳・ニツ屋・元町長職務執行者



会長 吹切 美一
78歳・宿戸・元町議会議長



委員 中山 雅人
65歳・下川原・町商工会副会長、観光協会副会長



委員 館野 隆
63歳・表沢・町社会福祉協議会会長



委員 青澤 侑子
67歳・下帯島・町教育委員会委員長



委員 奥寺 定雄
59歳・柏木畑・町農業委員会会長



委員 梨子 誠子
74歳・角浜・町婦人団体連絡協議会会長



委員 佐々木 宏
66歳・向上川原・町体育協会副会長



委員 澤村 よう子
56歳・玉川・町食生活改善推進員協議会会長



委員 高城 虎
37歳・鹿糠・町商工会青年部部長



委員 磯崎 孝男
70歳・川尻・農業・公募委員



委員 里村 勇雄
68歳・滝沢・農業・公募委員



委員 七役 恵
49歳・緑ヶ丘町・みどりが丘保育園園長



委員 三本木 万佳史
45歳・坂組・がんばる大野研究会会長



委員 上小路 喜作
64歳・阿子木・自営・公募委員



委員 佐々木 清治
47歳・平内・公務員・公募委員



委員 梅澤 賢治
61歳・八木北町・農林業・公募委員



委員 高城 邦夫
71歳・鹿糠・自営・公募委員



8月1日に行われた第1回町総合計画審議会



奥寺保雄副町長から委嘱状を手渡される委員たち

8月1日、役場種市庁舎で第1回町総合計画審議会が行われました。

審議会では、委員20人に委嘱状を交付。会長に吹切美一氏、副会長に中野春男氏がそれぞれ選任されたほか、町総合計画後期基本計画策定方針や町震災復興計画などが審議されました。

町は、平成18年の町村合併

時に策定した「町まちづくり計画（新町建設計画）」を基本に、平成19年3月、町の最上位計画である「町総合計画」を策定。まちづくりの指針としてさまざまな施策を進めてきました。

町総合計画の「前期基本計画」の期間は平成23年度までであることから、平成24年度からのまちづくり施策の方針を明らかにするため、「後期基本計画」を策定することとしています。

後期基本計画は、平成24～28年度までを目標年次とする5カ年計画で、平成23年度中に策定する予定です。策定にあたっては、「町総合計画・基本構想」の「まちづくりの基本目標と基本施策」を継承することを基本としながら、ことし3月に発生した東日

本大震災からの復興を第一とし、「優しく住みよい 住みたい町 ひろの」の実現を図ることとしています。年内には計画素案を固め、パブリックコメント（町の皆さんから意見を募集すること）を実施する予定となっています。

総合計画審議会の委員は、地域審議会委員、農業委員会委員、教育委員会委員、公共的団体などの役職員、学識経験者、公募により選任された人で組織されています（委員の顔ぶれは次ページのとおり）。

委員の役割は、町長の諮問（意見を求めること）に応じ、総合計画の策定に必要な事項について調査・審議し、意見を答申することです。審議会は、平成23年度中の計画策定に向け5回の開催が予定されています。

後期基本計画策定に向け 審議会が始動

東日本大震災からの復興を第一に考えた町総合計画後期基本計画の策定に向け、町総合計画審議会委員に20人が委嘱されました。

委員の顔ぶれと役割などを紹介します。

津波に耐えた！ ウニまつり大盛況！



①町のウニを待ちわびた買い物が詰め掛けた

②行列ができた焼きウニ、焼きアワビなどの販売コーナー

③・⑥町のウニを堪能する来場客

④好評だった生ウニ井づくり

⑤クーラーボックス持参で殻付きウニを買う来場客

⑦初日は開始前から約100人の行列ができた



③・⑥町のウニを堪能する来場客
④好評だった生ウニ井づくり
⑤クーラーボックス持参で殻付きウニを買う来場客
⑦初日は開始前から約100人の行列ができた

「津波に耐えたウニまつり」(種市南漁協宿戸実行部会主催)が7月30、31日の2日間、宿戸漁港で開かれました。例年、夏に種市海浜公園で開かれている「ウニまつり」と、宿戸実行部会がゴールデンウィークに開催している「宿戸ウニ直売会」は、津波の被害により開催できませんでした。洋野町のウニを待ち望むファンのために町内の各漁協が協力し合って開かれました。

初日の朝は、小雨まじりの悪天候にもかかわらず販売開始前に100人以上の行列ができるほど大盛況。来場客たちは、販売開始と同時に町特産の生ウニや天然ホヤなどを買い求めていました。

会場では、生ウニ井づくり体験や焼きウニ、焼きアワビなどのブースも設けられ、屋外には用意したテーブルがほぼ満席に。久慈市から家族で訪れた重浩一郎さん(上写真③)は、「初めて来たが、生ウニも焼きウニもとてもおいしい。来年もぜひ食べたい」と笑顔で話しました。

ご支援に感謝します

町に義援金を寄付していただいた皆さんを紹介します(敬称略。受付順で7月16日～8月22日分まで)。

■団体…関東建設(5万円)、連合岩手久慈地区協議会・平和環境久慈地区労センター・久慈地区友愛会(1万4,525円)、ゆふいん文化・記録映画祭(5万円)、新岩手農業協同組合産直ショップ「花野果」(5万円)、東北ヒート化学(10万円)、ウニまつり(2,526円)、久慈地区農業改良普及センター親睦会(1万円)、(株)タカヤ(30万円)、緑町地区会(3万円)、久慈市体育指導委員協議会(1万円)、北のハーモニー「音楽の森づくり事業」実行委員会(8,005円)、日本自治体労働組合総連合(100万円)、萬谷設計(1万円)、桶川たんぼほ保育園(20万円)、社久慈青年会議所(10万円)、洋野町長杯震災復興チャリティゴルフコンペ実行委員会(10万円)

■個人…砂ひろし(3,000円)、雪畑栄美子(5,000円)、高城靖雄チャリティ基金(13万385円)、古川洋子(1万円)

■非公開…1件(5,000円)

■義援金累計…5,088万2,004円

■義援金の支給先(8月24日分までの累計)

内容	支給額(万円)
住家被害者一時見舞金 ▷全壊(10万円×10世帯) ▷大規模半壊(7万円×11世帯) ▷半壊(5万円×5世帯) ▷一部損壊・床下浸水(3万円×17世帯)	253
住家被害者生活再建支援金 ▷全壊(25万円×10世帯) ▷大規模半壊(20万円×11世帯) ▷半壊(15万円×5世帯)	545
漁船損壊等見舞金 ▷漁船(7万円×286隻)	2,002
営農被害等見舞金 ▷酪農家(2万円×38世帯) ▷養鶏農家(2万円×31世帯)	138
支給額計	2,938

義援金の受付

町は、災害復旧のための義援金を受け付けています(平成23年9月30日まで)。受付方法など詳しくは問い合わせください。

■受付・問い合わせ先 役場福祉課(種市庁舎) ☎0194-65-5915、総合サービス課(大野庁舎) ☎0194-77-2112

INTERVIEW

町の発展のため 着実な復興に 取り組みます



洋野町長 水上 信宏

東日本を中心に今なお大きな被害をもたらしている東日本大震災では、本町も甚大な被害を受けました。

地震の直後に発生した大津波では、住家の全壊、半壊はもとより、基幹産業である水産業は、漁場や水産施設など

が壊滅的な被害を受けたほか、長期の停電と流通混乱により、住民生活や畜産業などに大きな被害がもたらされました。

町は、多くの皆さまから義援金などのご支援をいただきながら、早期の復旧・復興を目指してきました。5月1日には、町水産加工業等経営再建緊急支援金要綱を施行し、被災した事業者などへ合わせて3億円の支援を決定。5月20日には八木南地区に仮設住宅が完成し、住家被害に遭った3世帯が入居しています。

このような中で7月には、種市海浜公園で「ひろのビーチサッカーフェスティバル2

011」、宿戸漁港で「ウニまつり」が開催されました。両会場とも津波により甚大な被害を受けましたが、関係者の皆さまのご尽力により、無事に開催することができました。どちらも多くのお客様が訪れ大盛況となったことは、ひとえに関係者をはじめとする町民の皆さんの「結いの心」によるものと確信しています。

また、町の「つくり育てる漁業」の象徴であり、「ウニの里」としてブランド化を進めるうえでも欠かせない県栽培漁業協会種市事業所では、仮施設を設置し、本年度からウニの種苗生産が再開されるこ

ととなりました。同施設の種苗生産再開は、本町のみならず県内の漁業者が心待ちにしていたことです。早期の全面復旧に向けて、町として今後も関係機関に強く要望していきます。

7月28日には、町が復旧・復興を進めるうえでの基本となる「町震災復興計画」を策定しました。また、今年度中に町の最上位計画「町総合計画後期基本計画」も策定する予定です。同計画においても東日本大震災からの早期復旧・復興を最優先事項とし、町のさらなる発展のため、着実な復興に取り組んでまいります。

種市夏まつり



「種市夏まつり」(ひろのイベント事業実行委員会主催)が8月7日、種市駅前広場周辺で開かれました。

震災の影響により、一時はまつりの中止も検討されましたが、「シーサイド花火大会」など例年の催しの一部を中止し、規模を縮小して開催しました。当日は天候にも恵まれ、会場には町内外から約3200人が来場。震災からの復興に向けて立ち上がっている、町の元気を多くの人々にアピールしました。

開会セレモニーは、宿戸・八木保育園の園児による元気



1・5 23団体945人が参加した「山車・みこしパレード」

2・7・8・9・10 ナニヤドヤラ流し踊りは29団体から962人が参加した

3 息の合った踊りを見せた「てんつく連」

4 伝統の舞を披露した瀧澤鶏舞保存会。郷土芸能発表では、このほか、角浜駒踊保存会、おおの鳴雷太鼓、おおの雅組が踊りや演奏を披露した

6 オープニングを盛り上げた種市中学校吹奏楽部



種市駅前広場は詰め掛けた来場客でにぎわった(写真上)

勇壮な太鼓演奏を披露した「ふだい荒磯太鼓」(写真右)と種市海鳴太鼓(写真下)

まつりを締めくくると太鼓演奏には、普代村から「ふだい荒磯太鼓」が出演。種市海鳴太鼓とともに勇壮な演奏を披露し、観客から大きな拍手が送られました。

いっぴいの太鼓演奏と、みどりヶ丘保育園の息の合った太鼓隊演奏でスタート。

開会式が行われたあとは、町内の52団体が出演した郷土芸能発表、町内の52団体から約1900人が参加した「山車・みこしパレード」や「ナニヤドヤラ流し踊り」など恒例の催しが次々と行われ、沿道の観衆を湧かせました。



⑤ 1・2・3・6 大野地区中心街での流し踊り。沿道の観衆から拍手と歓声が送られた
4・5 大野小校庭の特設ステージでに輪踊りを披露する踊り手たち
7 「オープン参加の部」の第1位は、洋野町婦人団体連絡協議会



第22回大会の審査結果

※ 赤字は町内のチーム

■一般参加の部（舞台部門・参加19チーム）

- 最優秀賞 明戸婦人会（出場19回）
優秀賞 階上町田代盆踊り組（階上町・出場15回）
" 帯島盆踊り保存会（出場20回）
伝統文化賞 海上なにやとやら会（二戸市・初出場）
一人一芸賞 大野盆踊太鼓保存会（出場22回）
" 向田婦人会（出場22回）
" 二戸市ナニヤドヤラ保存会（二戸市・出場21回）

■特別招待チーム（前年度最優秀賞・審査対象外）

田子町ナニヤドヤラ保存会（田子町・出場10回）

■オープン参加の部（街頭流し踊り・参加13チーム）

- 第1位 洋野町婦人団体連絡協議会（出場6回）
第2位 舞鶴（出場4回）
第3位 新郷村ナニヤドヤラ芸能保存会（新郷村・出場2回）

町観光協会は、大会の様態を撮影した記録ビデオを販売します。ご注文・問い合わせは、役場地域振興課（大野庁舎）☎77-2111まで



一般参加の部で最優秀賞に輝いた明戸婦人会。しなやかで息の合った踊りを披露した

北奥羽 ナニヤドヤラ大会

「第22回北奥羽ナニヤドヤラ大会（ひろのイベント事業実行委員会主催）」が8月18日、大野地区中心街と大野小学校校庭で開かれました。

同大会には、県内外から初出場の2チームを含む33チームが参加。当日は雨に見舞われながらも、総勢約1000人の踊り手が街頭流し踊りや特設ステージでの輪踊りで地域豊かなナニヤドヤラを披露し、県内外から訪れた約3500人の観衆を沸かせました。

審査の結果、一般参加の部では、悪天候を感じさせないしなやかで息の合った踊りを披露した明戸婦人会が18年ぶり2度目となる最優秀賞に輝きました。そのほか、各部門の上位に入賞したチームは左記のとおりです。



- 1 大野ふるさと物産館前に並べられた2台の山車
- 2 権現様に厄払いをしてもらう子どもたち
- 3 観衆の心もなごむ、かわいい稚児行列
- 4・5・7 太鼓、笛、掛け声でまつりを盛り上げる
- 6 20年以上にわたり、まつり期間中の鳴雷神社の留守番を務める奥寺富蔵さん（87歳・長根）。16日から20日まで神社に寝泊まりして、まつりを裏から支えている
- 8・9 17日、悪天候に負けず堂々と踊りを披露した林郷小児童による「林郷ソーラン」と「おおの雅組」
- 10 中学生が元気に飛び跳ねた「おおの駒踊り」
- 11 婦人会のメンバーによる「大野小唄」



鳴雷神社例大祭

約140年間続く伝統の祭典「鳴雷神社例大祭」が8月17日から19日の3日間、大野地区中心街で行われました。17日（お通り）と19日（お還り）の神輿渡御行列では、猿田彦の大神を先頭に神社関係者や稚児行列のほか、おおの駒踊り、郷土芸能などが中心街を練り歩き、沿道を埋めた観衆を楽しませました。

まつりの華である山車の題材は、上組新興団（下館博美団長）が「かくや姫」、下組旭光団（澤山栄吉団長）が「幸せを呼ぶ大野駒踊り」。19日夜、上組、下組の両団は大野ふるさと物産館前にそれぞれの山車を並べ、まつりを締めくく「別れ太鼓」を競演。ライトアップされた2台の山車の太鼓や笛と威勢のいい掛け声が響き、会場は熱気に包まれました。



神輿渡御行列。先頭は猿田彦の大神

夏の大会で町勢の活躍光る

7月～8月にかけ、中学校、高校のスポーツ大会が全国各地の会場で開かれました。中野中出身の工大一高ソフトテニス部の2人と大野中女子卓球部が全国大会へ、中野中男子ソフトテニス部と種市中の生徒3人が東北大会にそれぞれ出場。活躍した選手たちを紹介します（敬称略）。



大野中女子卓球部のメンバー（前列左から）松浦明香里（3年）、高橋梓海（3年）、林茉莉（3年）、旭岡夏希（2年）（後列左から）平賀純監督、工藤優（2年）、須田英梨香（2年）、白戸貴尚コーチ



中野中男子ソフトテニス部のメンバー（後列左から）小野要監督、粒来航輝（3年）、粒来優太（3年）、玉澤直人（2年）、粒来啓太（2年）、（前列左から）阿部凌大（3年）、小坂洋介（2年）、粒来伶（2年）、玉澤瑞貴（3年）

体2位、個人で3位になったのは、指導や応援をしてくれた人たちのおかげ」と感謝の言葉を述べました。

平賀監督は「県大会2位の悔しさをバネに、東北大会へ向け練習を頑張った。チームが大会を通して、成長していくのを実感した」と選手の健闘をたたえました。

同部は、8月17日から和歌

山県和歌山市で開催された第42回全国中学校卓球大会に出場。団体戦は、予選リーグの得失点差で惜しくも決勝トーナメント進出を逃しました。

個人戦では、推薦枠で出場した松浦選手が善戦しましたが1回戦で敗退。高橋主将は順当に勝ち進み、3回戦で今大会優勝した選手を相手に、フルセットの末惜しくも敗れ

全国16強入りを逃しました。

中学校
中野中ソフト
テニス県準優勝

第58回県中学校総合体育大会ソフトテニス競技が7月16～18日、北上市の和賀川グリーンパークで行われ、男子団体に出場した中野中が準優勝を果たし、東北大会出場の

中学校
種市中の3選手
県大会上位入賞

第58回県中学校総合体育大会で種市中の2選手が準優勝、1選手が3位入賞の活躍を見せました。

7月16～17日に二戸市の市総合スポーツセンターで行われた柔道競技では、男子個人90kg級で北向和也選手、女子63kg級で関端沙織選手がそれぞれ強豪相手に勝ち進み、見事準優勝を果たしました。

7月15～17日に盛岡市の市



荒巻知佳乃（1年）

立総合プールで行われた水泳競技では、荒巻知佳乃選手が女子個人メドレー200mで出場し、2分39秒18のタイムで1年生ながら堂々の3位入賞を果たしました。

3選手は、8月1日から行われた東北中学校体育大会の各競技にそれぞれ出場、健闘しましたが、惜しくも入賞はなりませんでした。



北向和也（3年） 関端沙織（3年）



工大一高男子ソフトテニス部のメンバー 玉沢将己（前列右端）、笠水上尚也（後列左から2人目）写真提供：工大一高



準決勝1番手で出場し、ラリーの応酬をする玉沢選手



準決勝3番手で出場し、ボレーを決める笠水上選手

高校
工大一高ソフト
テニス全国3位

全国高校総合体育大会「2011 熱戦再来 北東北インターハイ」のソフトテニス競技男子団体が7月31日、青森県青森市の新青森県総合運

動公園テニスコートで行われました。

本町からは、八戸工大一高3年の玉沢選手（中野南区）と笠水上選手（中野北区）が出場。全国各地から集まった強豪校を相手に熱戦を展開し、見事全国3位入賞の活躍

を見せました。

工大一高は、初戦の楊志館高（大分県）を2-1、3回戦で中京高（岐阜県）、準々決勝で田村高（福島県）をそれぞれ2-0で下し、順当に勝ち進みました。続く準決勝では上宮高（大阪府）と対

中学校
大野中卓球部
東北大会準優勝

第41回東北中学校卓球大会が8月5～7日、奥州市の水沢総合体育館で行われ、大野中女子卓球部が団体戦で準優勝に輝きました。また、個人戦では高橋主将が3位入賞を果たしました。

高橋主将は「東北大会で団

戦。昨年の優勝校相手に一進一退の攻防でしたが、接戦の末、惜しくも2-1で敗れました。

玉沢選手は「これまで自分たちを支えてきてくれた人たちに少しでも恩返しをしたかった。優勝できず残念だったけど、結果は残せたので少しは恩返しできたと思う」と大会を振り返りました。

笠水上選手は「地元開催で多少プレッシャーがあり、思い通りのプレーができなくて反省している。基本をしつかり見直して団体へ出場し、インターハイで達成できなかった日本一を目指したい」と次の目標を見据えました。

第6回 町成人式

新成人223人 未来への第一歩

「第6回町成人式」が8月15日、町民文化会館で開かれ、今年度成人を迎える223人のうち172人が出席。社会人として未来へ羽ばたく第一歩を踏み出しました。

式典では、水上信宏町長が「感謝の気持ちを忘れずに、常に向上心を持って目標に向かってほしい」と新成人たちを激励。新成人を代表し、下川原啓太さん（薬師）が「責任ある社会性を身に付け、新しい時代を切り開きたい」と誓いの言葉を述べました。

式典に続いて、恩師からのメッセージが披露され、八戸市出身のタレント十日市秀悦さんによる記念講演が行われました。出身中学校区ごとの写真で出席者を紹介します。



1 誓いの言葉を述べる下川原さん 2 町民憲章を読み上げる荒津内篤さん（横手） 3 新成人を代表して記念品を受け取る野村友香里さん（坂組） 4 記念講演で歌を披露する十日市さん

中野中学校区

成人者数 38人
（男性21人・女性17人）



宿戸中学校区

成人者数 29人
（男性11人・女性18人）



種市中学校区

成人者数 49人
（男性27人・女性22人）



大野第二中学校区

成人者数 56人
（男性31人・女性25人）



大野第二中学校区

成人者数 16人
（男性13人・女性3人）



角浜中学校区

成人者数 15人
（男性5人・女性10人）



城内・大和中学校区

成人者数 13人
（男性8人・女性5人）



平成 24 年度採用の 保育士を募集します

町は、町立の保育所（園）で働く保育士を次のとおり募集します。

■**受験資格** ①昭和46年4月2日以降に生まれた人（平成23年4月1日現在で40歳未満の人）②保育士の資格がある人 ③保育所などの児童福祉施設または幼稚園で保育士として職務経験年数が1年以上の人（平成24年3月31日までに1年に達する場合も含む）④町内に住所がある人

■**募集人数** 若干名

■**受付期間** 9月1日(木)～9月16日(金)まで。郵送の場合は9月16日(金)の消印有効

■**申込方法** 役場総務課（種市庁舎）と地域振興課（大野庁舎）にある申込用紙に必要事項を記入し、総務課に提出してください（郵送可）。希望者には申込用紙を郵送します

■**試験日時** 10月16日(日) 午前9時～（受け付けは午前8時30分～8時45分）

■**試験内容** ▷第1次試験…一般教養試験（英語出題無し）、職場適応性検査、作文試験 ▷第2次試験…人物試験、身体検査

■**試験会場** 洋野町役場種市庁舎

■**応募・問い合わせ先** 〒028-7995 岩手県九戸郡洋野町種市23-27 洋野町役場総務課（種市庁舎）人事係 ☎65-5911



園庭で遊ぶ園児を優しく見守る保育士

9月11日(日)は投票日 忘れず投票しましょう

9月11日(日)は、県知事と県議会議員選挙の投票日です。私たちの生活に直接関わる身近な選挙です。忘れずに投票しましょう。

投票日当日に仕事などで投票所に行けない人は、期日前投票などを活用して、棄権しないで投票しましょう。

■**入場券** 入場券は、9月2日(金)から郵送します。1人1枚のハガキサイズになっていますので、忘れずに投票所に持参してください。

■**投票場所・時間** 投票場所は町内の28カ所（**広報ひろの8月号14頁参照**）で、投票時間は午前7時から午後6時までです。なお、開票は同日午後8時から種市体育館で行います。

■**期日前投票** 投票日当日に仕事などで投票所に行けない人は、次のとおり期日前投票ができます。

▷**日時** ①県知事選挙…8月26日(金)～9月10日(土)②県議会議員選挙…9月3日(土)～10日(土) 午前8時30分～午後8時

▷**場所** 役場種市庁舎1階町民ホール、大野庁舎1階第一会議室

■**不在者投票** 投票所や期日前投票所に行けない人は、次のとおり不在者投票ができる場合があります。▷入院・入所中で不在者投票を希望する人は、各施設に投票ができるかご確認ください。

▷身体に障がいがある人など一定の要件に該当する人は、郵便による不在者投票ができます。希望する人は郵便等投票証明書を添え、9月7日(木)までに投票用紙などを町選挙管理委員会へ請求してください。新たに郵便投票を希望される人は、あらかじめ申請手続きが必要となります。詳しくは問い合わせください

■**問い合わせ先** 町選挙管理委員会（役場種市庁舎3階）☎65-5911

新成人が飲酒運転追放を誓う



（写真上）誓約書を提出する久慈道さん（左）と須田さん（左から2人目）



（写真左）成人式会場で誓約書に署名する新成人たち

成人式が行われた8月15日午後、新成人を代表して久慈道圭吾さん（中野南区）と須田優香さん（長代）の2人が久慈警察署を訪れ、成人式会場で出席者172人のうち署名した98人分の「飲酒運転追放誓約書」を提出しました。

久慈道さんが「私たち新成人は、飲酒運転を追放し、交通事故のない安全で安心なまちづくりに寄与することを誓約します」と誓いの言葉を述べ、続いて須田さんが「私は交通ルールを守り、酒を飲んだら運転しない、飲んだ人には運転させない、車を提供しない、運転する人に酒を出さない、すすめない、飲酒運転の車に同乗しないことを誓います」と誓約書を読み上げ、中村一雄署長へ手渡しました。新成人たちは誓約書に署名し、20歳の権利と責任を自覚しました。

20歳からスタート！国民年金



8月15日に町民文化会館で行われた成人式

20歳を迎えると、様々な権利とともに義務も生まれまします。国民年金に加入すること、国民年金は、日本に住んでいる20歳から60歳までのすべての人が加入して、やがて誰にでも訪れる老後の所得保障だけでなく、傷害や死亡といった不慮の事故などにより私たちの生活の安定が損なわれることのないよう、みんなでもって保険料を出し合いお互いを支え合う制度です。また、少子高齢化が進行し現役世代の負担が年々増加します。

ていますが、基礎年金の半分は国庫負担金で賄われているため、現在20歳の人も納付した保険料以上の年金が受け取れます。さらに賃金や物価の変動に合わせて年金額が改定されますので、大変有利です。ただし、加入の手続きや保険料の納め忘れがあると年金が受け取れないこともありますので、「あのときに…」と後悔する前に必ず国民年金の加入手続きを取りましょう！

なお、学生の人は、所得が少ないなどの理由で国民年金保険料を納めることが困難な場合が多いため、在学期間の保険料の納付を猶予する「学生納付特例制度」があります。

また、学生以外でも、収入が少なく保険料の納付が困難な場合は支払いを猶予する「若年者猶予制度」もありますので、問い合わせください。

■**問い合わせ先** 二戸年金事務所 ☎0195-23-4111または役場町民生活課（種市庁舎）☎65-5914、総合サービス課（大野庁舎）☎77-2112

町有財産の 貸付

図役場総務課（種市庁舎）
管財係 ☎65-5911

■貸付物件

①旧帯島小学校教員住宅2号・1▽所在地：洋野町帯島第10地割25番地2▽物件：木造平屋建て30・03㎡（昭和57年建築）▽賃貸価格：月額5500円

②二区駐車場▽所在地：洋野町種市第23地割27番地167（岩手銀行種市支店隣）▽物件：1区画▽賃貸価格：月額2625円

■**申請期間・方法** 9月12日(月)～30日(金)までに申請書を提出してください。受付順に審査し、利用者が決まり次第、募集を終了します。詳しくは問い合わせください。



ジョウイ・トランさん

22歳・アメリカ ワシントン州出身

「皆さんこんにちは。洋野町は自然豊かで、人が優しく、食べ物がとてもおいしいですね。生徒たちには英語だけでなく、アメリカやベトナムの文化、習慣などを教え、世界に興味を持ってもらえるようにしたいです。町の人たちとたくさん交流したいので、皆さんよろしくをお願いします」

ジョンさんは、町で過ごした2年を振り返り「お祭りなどで踊ったり、大きな地震も体験するなど思い出がたくさんあります。町の人からはとても優しくしてもらい、生徒たちは楽しく勉強してくれて、たくさんの元気をもらい大変感謝しています。海も山もきれいで、人のぬくもりがある洋野町は、理想の町です。またいつか遊びに来ます」と思い出を話しました。



送別会で花束を受け取るジョンさん

町の小中学校で英語の指導にあたる外国語指導助手（ALT）3人のうち1人が、任期を終え交代しました。平成21年に着任し2年間の任期を終えたジョン・マコーSTEINさん（26歳）に代わり、新たに着任したのはアメリカのワシントン州出身のジョウイ・トランさん（22歳）。ジョウイさんは1年間の任期で、種市地域の小中学校で英語の指導にあたります。アンドリュー・バートさん（28歳）とブレント・ファイフさん（27歳）の2人はともに任期を1年更新しました。

ありがとうございます ようこそジョウイ先生

防災推進室からのお知らせ 防災サイレン

津波避難訓練に参加を

町は、震災後初めてとなる津波避難訓練を9月25日(日)午前8時から行います。

3月11日の大津波では、日ごろの訓練の成果から町民全員の生命が守られました。しかし災害はいつ起こるかわかりません。皆さんで訓練に参加し、避難方法などを再確認しましょう。

なお、当日の訓練終了後に、消防観閲式を種市体育館前駐車場で行います。詳細については後日お知らせします。



水門を閉鎖する消防団員

「エリアメール」の運用開始

町は、8月12日から、NTTドコモ緊急速報「エリアメール」の運用を開始しました。

「エリアメール」とは、気象庁が発表する緊急地震速報や、町が発信する緊急性の高い災害情報（避難指示、避難所開設、津波情報など）を町内のNTTドコモ送信エリア内にいるNTTドコモの携帯電話利用者へ送信し、自動受信させるシステムです。受信すると専用の着信音が鳴り、自動で画面が表示されます（マナーモード設定の場合は、マナーモードが優先されます）。登録は不要で、通信料などは発生しません。ただし、一部端末では登録が必要なもの、もしくは「エリアメール」非対応場合があります。詳しくはNTTドコモホームページよりご確認ください。

防災無線をメールで配信中

町は、いわてモバイルメール（広報8月号11頁参照）を活用し、災害情報や火災情報のほか、**防災無線の放送内容**を毎回メールで配信しています。登録は無料ですので、日頃から防災無線が聞こえづらい地域の人など、確実な情報収集手段として、積極的に登録していただき、ご利用をお願いします。

また、防災無線の放送内容は、電話（☎65-5356：有料）でも確認できますので、ご利用ください。

「救急フェア」を開催します

9月5日から11日の救急医療週間に併せて種市分署は、「救急フェア」を開催します。

- 日時 9月10日(土) 午前10時から12時まで
- 場所 種市産直ふれあい広場
- 内容 AEDの取扱方法、救急車の展示など
- 問い合わせ先 種市分署 ☎65-6119

講習会へ申し込みください

大野分署は、一般の人を対象とした救急講習会、AED講習会の申し込みを随時受け付けしています。詳しくは問い合わせください。

- 問い合わせ先 大野分署 ☎77-4119

記事に関する問い合わせは…

役場総務課防災推進室
(種市庁舎) ☎ 65-5918



こころさん

こ・ち・ら 保健センター



よぼうくん

自殺予防のための4つのポイント

- 【気づき】** ～ 家族や仲間の変化に気づいて、声をかける
 - 【傾聴】** ～ 本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける
 - 【つなぎ】** ～ 早めに専門家に相談するよう促す
 - 【見守り】** ～ 温かく寄り添いながら、じっくりと見守る
- 悩みを相談された時は…励ましや意見よりも、そばに寄り添って真剣に話を聞いてみましょう

【さまざまな悩みの相談窓口】

相談機関	電話番号	相談内容
種市保健センター こころの健康相談専用	65-3950 69-1768	主に体やこころの健康に関すること
大野保健センター	77-3576	
地域包括支援センター	69-1966	高齢者に関すること
大野在宅介護支援センター	77-2508	
久慈広域消費生活相談センター	54-8004	借金、悪徳商法など
久慈保健所	53-4987	自死遺族ケアなど
盛岡いのちの電話	019-654-7575	こころの悩み相談
岩手自殺防止センター	019-621-9090 0120-334-964	※曜日や時間が限定されています

一人で悩まず相談を

近年、全国では自殺で亡くなる人が年間3万人を超え、深刻な社会問題となつていきます。平成21年の自殺死亡率（人口10万人に対する自殺者数）は、全国で24・4、町は65・8で、町は全国に比べ非常に高い水準です。

町は、職員が9月の県自殺防止月間の毎週水曜日に緑色の「ひろのこころ支え隊（た

い）」Tシャツを着用しています。このTシャツには、自殺対策やこころの健康について皆さんに知ってもらえるように、また、悩んでいる人のそばに寄り添い話を聞き「心を支え（隊）たい」という気持ちが進められています。

自殺の原因はさまざまですが、一人で悩まずに早めに相談するのが解決の第一歩です。左記窓口にお気軽にご相談ください。



J R 種市駅前広場の放置自転車

放置自転車を 撤去します

町で管理するJR種市駅前広場の駐輪場で、持ち主の管理がされていないと思われる放置状態の自転車が多数駐輪されています。

この自転車は現在、広場駐輪場の北側へ専用スペースを設置し、一時的に集めて保管してあります。

駐輪スペースの確保、広場の環境改善のため、放置状態と判断される自転車の廃棄などを9月30日以降に行います。心当たりのある持ち主は、自転車の引き取りや専用スペースから移動するなど、適正な管理をお願いします。

■問い合わせ先 役場水産商工課（種市庁舎）☎ 65・5916



宿戸中に「小さな親切実行章」

宿戸中は8月17日、アルミ缶を回収して車椅子を特養うなばら荘に寄贈したことが評価され「小さな親切」運動本部から小さな親切実行章を受章しました。



二十山親方が町の施設を訪問

春日野部屋の二十山親方と析煌山が8月17日、特養久慈平荘と特養うなばら荘を慰問。利用者一人ひとりに握手をするなどしてふれあいました。



運転手に交通安全を呼び掛け

8月10日、町交通安全対策協議会などが町内3箇所で行った夏の交通事故防止県民運動を行い、運転手にヤクルトやチラシを配り、交通安全を呼び掛けました。



まちなかLIVEのステージでは多彩な演目が披露された

ライブで中心街に活気

洋野まちなかフェスタinおの

「がんばる!!洋野まちなかフェスタinおの（がんばる大野研究会主催）」が7月30日、大野地区中心街で行われ、約800人が来場しました。大野小体育館で3on3バスケットボール大会が行われたほか、おののポケットパークでのライブでは、和太鼓競演やよさこいフェスティバル、三味線ライブなどが次々と披露され、会場は多くの人でにぎわいました。



会場はさまざまな出店が並び、たくさんの親子連れで賑わった

夏の夕べを楽しむ交流

おののちびっ子夏まつりを開催

7月29日、おののキャンパスで「おののちびっ子夏まつり（同実行委員会主催）」が開催され、来場した親子連れが出店や花火などで夏の夕べを楽しみました。

同まつりは各保育所の子どもたちと入所前の子どもたちの交流を目的に開催され、ことしで11回目。約750人の参加者は、ステージで披露された寸劇やダンスを親子で楽しんだあと、会場内のヨーヨー風船や金魚すくいの出店に長蛇の列を作るなど、夏まつりを満喫しながら交流を深めました。

町内の学校や地域、各種団体などで行われた催しを紹介します。

園児に絵本プレゼント

「3.11絵本プロジェクト」が来町



（写真上）スタッフによる絵本の朗読に園児たちは夢中になって耳を傾けた



（写真右）絵本をプレゼントされ園児たちは、えほんカーの前で大喜び

宿戸保育園（大粒来洋子・園児23人）に7月28日、「3.11絵本プロジェクトいわて」のスタッフが訪れ、園児たちに絵本をプレゼントしました。

園内では、同プロジェクトのスタッフによる絵本の読み聞かせが行われたあと、園庭に600冊の絵本を積んだ「えほんカー」が登場し、園児1人に2冊ずつ絵本がプレゼントされました。同プロジェクトは被災地の子どもたちに絵本を贈る活動をしており、園児たちは大喜びで、たくさんの本の中から好きな本を探して、夢中になって読んでいました。



ステージの最後に「ふるさと」を出演者全員で合唱

星空の下ステージ満喫

北のハーモニー星空コンサート

「2011北のハーモニー星空コンサート（北のハーモニー『音楽の森づくり事業』実行委員会主催）」が8月6日、ひろのまきば天文台で開かれ、集まった約180人の観客は、星空の下で歌や演奏などステージを満喫しました。

同コンサートには、大野保育所やグリーンエコーなど町内の団体のほか、久慈市の団体も出演。6団体が多彩な演奏や合唱などを披露し、最後に出演者全員で「ふるさと」を歌いました。また、会場では星空案内も行われ、観客は天の川や夏の星空を観察しました。



フェスティバルのフィナーレは会場一帯となった盆踊り大会

地域づくり35周年祝う

おおさわサマーフェスティバル

8月13日、アグリパークおおさわで「おおさわサマーフェスティバル2011（大沢部落会主催）」が開催され、演芸ショーや花火大会、盆踊り大会など多彩なイベントが行われ、集まった来場者を楽しませました。

ことしは、大沢の地域づくり35周年を迎え、地域づくり功労者へ感謝状が贈られたほか、むらづくり講演会なども開催。会場へ集まった関係者らは地域づくり35周年を祝い、これまでの取り組みを振り返り、今後の地域づくりへの思いを新たにしました。

「ピーター・パン」公演

■みんなでつくる夢のミュージカル
滝沢村の「滝沢ふるさと交流館」を拠点に活動している特定非営利法人「劇団ゆう」と、町の子どもたちによるミュージカルを今年も行います。

このミュージカルは、県内公立文化会館複数館連携事業の一環として行われるもので、昨年の「美女と野獣」に続き、世代を超えて愛される永遠のファンタジーミュージカル「ピーター・パン」が今年の作品です。子どもたちの晴れ舞台を、皆さんお誘い合

わせのうえご鑑賞ください。
■日時 9月25日(日) 午後2時(午後1時30分開場)
■場所 町民文化会館
■入場料 無料(入場整理券が必要です)
■入場整理券配布場所 町民文化会館、役場種市庁舎、大野庁舎、中野支所、種市図書館、大野図書館、アグリパークおおさわ、おおのキャンパス、サークルK洋野種市店ほか

■問い合わせ先 町民文化会館 ☎ 65-5411



高校野球の交流大会を開催

町教育委員会は「第6回洋野町長杯高校野球交流大会」を次のとおり開催します。8校のトーナメント戦で争われる白熱の試合をぜひご覧ください。



【日時】 10月1日(土)～2日(日) 午前9時～
【会場】 オーシャン・ビュー・スタジアム
【入場料】 無料
【参加校】 高田高、大槌高、八戸工大一高、久慈高、久慈東高、久慈工高、種市高、大野高
【問い合わせ先】 種市体育館 ☎ 65-4290



去年の優勝チーム、久慈東高のメンバー

駅伝大会の参加チーム募集

町教育委員会は「第5回町駅伝大会」を次のとおり開催します。参加チームの募集など、詳しくは問い合わせください。

【日時】 10月9日(日) 午前9時～
【会場】 大野地域一円
【コース】 ①地域・職場の部…全9区間 35.59 km ②一般女子・小学生の部…全8区間 15.78 km ③中学生・一般オープンの部…全9区間 29.09 km
【問い合わせ先】 教育委員会大野事務所 ☎ 77-2115



昨年のスタート。大野体育館前を一齐に飛び出す参加選手たち

町芸術文化協会からのお知らせ

●陶芸教室

■日時 9月12日(月)～16日(金) 午前9時～午後2時
■場所 町陶芸窯(種市生活改善センター裏)
■参加料 1500円(材料代) ※サークル新規加入者は年会費1000円が必要
■申込期限 9月7日(水)
■申し込み・問い合わせ先 陶芸サークル代表 小坂 ☎ 67-2508

●新舞踊教室

■日時 9月13日(火)、20日(火)、27日(火)、10月4日(火)、11日(火) 午後7時～9時
■場所 種市勤労青少年ホーム
■講師 加藤タイ子(八戸市)
■参加料 500円(町芸文協会員は無料)
■申込期限 9月10日(土)
■申し込み・問い合わせ先 もみじ好友会代表 磯崎 ☎ 65-3356

本 今月のおすすめ

■種市図書館 (☎ 65-3943)



宮城県気仙沼発! ファイト新聞

ファイト新聞社著(河出書房新社)
ルールは1つ、「暗い話は書かない」。宮城県気仙沼市の避難所で中学生4人によって始まった壁新聞「ファイト新聞」を収録。溢れる色彩で子どもの持つエネルギーを感じる希望の一冊。



リーダーの礼節

栗田 亘 著(小学館)
不況下の今、組織のリーダーたる者はどうあるべきか。温故知新のことわざに従い、中国四千年の歴史に育まれた古典をもとに、ひと味違う視点から「リーダー像」を明らかにしていく。

■大野図書館 (☎ 77-4086)



9割がバイトでも最高のスタッフに育つ ディズニーの教養

福島文二郎 著(中経出版)
ディズニーは人材教育の「しくみ」&「しかけ」の宝庫。チーム全員がリーダーになるように「人を育てる法則」と、相手がどんな立場でも使える「人材教育の方法」を解説。



トシイ 上

キム・イヨン、チョン・ジェイン 著 金重明 訳(キネマ旬報社)
身分差別の激しい朝鮮王朝時代、最下層の身分の少女・同伊(トシイ)が、第19代国王・肅宗と愛を育み、後の第21代国王・英祖の母となるまでの人生を描いた感動巨編。

【催し】「雑誌・コミックの本展」…9月1日(木)～30日(金)まで
【休館日】 9月5日(月)、12日(月)、19日(月)、23日(金)、26日(月)

まちの文芸



黒潮川柳句会(兼題Ⅱ目・当季雑詠)

震災に負けず生きよと菩薩の目
玉音も放心の目が枯れている
美しいものを見た目に飢えが無い
日付より産地気にしみんなの目
見つめ合う目と目見えない火花散る
目の奥に湖を見て決めた人
笑顔には温かい目でお返しす
夢背負う孫の瞳に祈る幸
天変地異無惨まなこが痛くなる
老木がしつかり見ている世の動き
嘘のない目だこの人を信じよう
老眼をトンボの目にし忘れ物
メンクイも目からはじける恋かしら

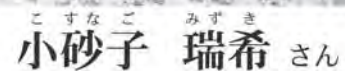
坂久保 関人
野口 一滴
赤坂 香仙
太長根 英子
小田 わか葉
小松 松子
紀 杏
裕 子
典 子
柳 清水 広作
長 根 鬼 赫
桐 花

種市俳句愛好会(兼題Ⅱ虹・当季雑詠)
通学路友と見し虹大さかり
無精髭ざらついてをり虹のたつ
夕虹や女は会うと立咄
水平線久々に見る長き虹
日曜日景境またぐ虹の橋
夕風や地蔵の建立浦の町
薫潮句会八月例会(題Ⅱ盆一般・当季雑詠)
鎮魂の空にすわれし火花かな
県境の音のみ聞こゆ大花火
夏祭団体の中の幼き子
花火師の次あける間に闇生まれ
うしろより母の声して盆灯籠
花売場客賑わいて盆支度
親も子も線香花火の輪になりて
花火する子らで賑わう夕べかな
法要に集う墓前の鐘涼し
盆波の尖りて浜を寂しくす

瑞 江
東 海 子
有 心
華 乃
映 光
碧 邦
ゆ り
ま こ
八 重 子
長 子
栄 子
祐 光
ツ ヤ
玲 子
寿 重

清流短歌会
湯上がりの匂う黒髪つやつやと幼き孫も成長したり
夢叶いインターハイに出る孫の紙面の顔写真しばし眺むる
「特攻の叫び」一行読まぬ間に止めどもあらず涙溢れ来
年々に便箋の数その種類減りゆく町の文具店頭
葉の緑今朝いちだんと濃くなりて地胡瓜苗の根付きたるらし
別れとは博多祇園の太鼓さえもの悲しげに心に響く
畑仕事木陰に一眼空見れば白き雲ぐもかき氷に見ゆる
ウォーキングと云うには緩き歩みして木陰ひろいつ四キロ歩く
港内を巡り巡りてクレイン船は津波に沈みし瓦礫を除く
毎日の犬の散歩に目に触れる季節の花の移りゆくさ
川 崎 久 子

日本一周旅行をして、夜景の
きれいな場所を見てまわりたい



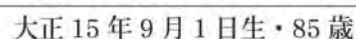
勤務先：軽米セシモ二一ホール眞照堂

★理想の異性像は
毎日一緒にいても飽きない
おもしろい人。でも、いさとい
う時、頼りになる人がいい
ですね。

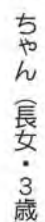
★町に期待することは
若い人が働ける場所があれば
いいですね。あと、若い人
の集まれる喫茶店とが楽しめる
場所が欲しいです。

★将来の夢は
一生に一度でいいので、日
本一周旅行をして、全国の夜
景のきれいな場所を見てまわ
りたいです。

(66)



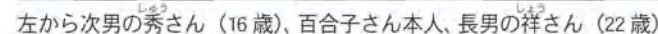
58



「いつも元気いっぱい
これからたくさん遊んで
大きく育ってね」

(64)

東京都東大和市在住



小林百合子さん

（旧姓生平・水沢出身・46歳）

同級生

菊池 えみ子さん (上帯島・47歳)

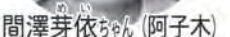
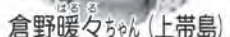
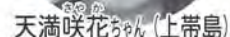
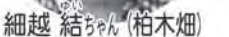
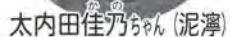
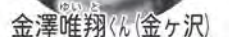
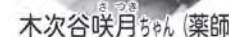
百合子とは、小学校から高校まで同級生でした。かわいくていつもニコニコしていましたが、芯の強い人でした。中学・高校ではソフトテニス部でダブルスを組み、練習や試合で苦しい時、2人で励まし合って頑張りましたね。高校卒業以来20年ぶりに会った時、全然変わっていませんでした。また久しぶりに会って、楽しくお話したいですね。

上京して、約30年、同日がたつのは早いも
です。私は鎌倉から東京の多摩地帯に
はんで、まうか、洋野町に寄る度、あゝ水が
美味しー。空気があけくうて、よく感じよう
という私が、あつちのきり水と澄んだ空気、
なかげ、ごらん、父や親戚地元の人達の
懐しい笑顔を、おもひになんていうよネ!!

わゝ、暖かく叔父や叔母、地元の方には、
お世話になりながらですが、遠く離れた
場所へ私達が安心して暮らせようも
かなえり、なかげどう。本当にありがとう
ござます。田舎マヤリある町で暮らすよかだ
思合があるよめたとも思っています。さ
うまで元気でいてください。同級生、みな元
みえ気ですかマ。健康に負けてませんな。
白髪、しら、脂肪増えたのか? 体カク
衰えも、感じず、今もうこうですが、まだまだ
やるべき事はたくさん。お互いに、これがより
人生むとちと来しめよう。

集まれ～

◎大野保健センター 7月21日の2歳児健診



試験

各種自衛官の採用試験

■受験資格 ▽防衛大学校生・防衛医科大学校生・航空学生：高卒18歳以上21歳未満▽看護学生：18歳以上24歳未満 ▽一般曹候補生・自衛官候補生：18歳以上27歳未満 ※受験申し込み期間や試験の期日、場所など、詳しくは問い合わせください

■申し込み・問い合わせ先 役場町民生活課（種市庁舎）
☎ 65・5914、自衛隊久慈連絡所 ☎ 53・5419

高等技術専門校の入試

県立二戸高等技術専門学校では学生を募集しています。詳しくは問い合わせください。

■定員 ▽自動車システム科：20名 ▽建築科：15名

■受験資格 ①一般（高校卒業程度）、②推薦（平成24年3月に高校を卒業する見込みで、学校長が推薦した人）

■申込期限 ①10月14日（金）

開催

技術訓練の公開

久慈消防本部では、火災消火技術訓練を公開します。

■日時 9月14日（水）、15日（木）
午前9時45分～午後11時30分

■場所 久慈消防署敷地内

■内容 久慈消防署、各分署消防隊による消火技術及びタ イムを競う競技会

■その他 駐車場は数に限りがあります。また、災害発生などにより訓練を中止することがあります

■問い合わせ先 久慈消防署 警防救急係 ☎ 53・0119

■県公所一般公開デー 県農業研究センター県北農

労災保険給付の請求

第2会議室 ②役場大野庁舎2階大会議室

■その他 相談は無料で予約も不要ですが、都合により日程が変更になる場合がありますので、事前に確認ください。

■問い合わせ先 同センター ☎ 54・8004

法務局の震災相談

盛岡地方法務局は、東日本大震災に関する電話相談専用フリーダイヤルを開設しています。

■日時 ▽平日：午前8時30分～午後5時15分 ▽休日：午前9時～午後4時

相談

9月の年金相談

二戸年金事務所は、9月の「年金相談」を開催します。お越しの際は、年金手帳などの基礎年金番号が確認できるものを持参ください。相談は無料ですが、電話などで予約が必要です。

■日時 9月14日（水）、28日（水）
午前10時30分～午後4時

■場所 久慈市文化会館

■予約・問い合わせ先 二戸年金事務所 ☎ 0195・23

土地家屋の無料相談

県土地家屋調査士会二戸久慈支部では、10月1日「法の日」を記念して下記のとおり無料相談を行います。

■日時 10月1日（土）午前9時～正午

■場所 支部会員の各事務所

■内容 土地の分筆、合筆、地目変更、地籍更正登記、建物の新築、増築、滅失登記、土地、建物の調査測量、境界問題

■問い合わせ先 同支部久慈地区事務局 山田尚幸 ☎ 65・4953

消費トラブルの相談会

久慈広域消費生活センターは、出張相談会を開催します。悪質商法などの消費生活トラブル、多重債務によるお金の問題などでお困りの人は気軽にご相談ください。

■日時 ①9月5日（月）、②9月20日（火）午後1時～4時

■場所 ①役場種市庁舎2階

お知らせ

農政事務所の再編

農林水産省の組織再編の一環として、県北地域の農政関係事務を担当してきた「東北農政局岩手農政事務所地域第四課（二戸市）」と「二戸統計・情報センター（同）」が、9月1日から「東北農政局盛岡地域センター（盛岡市）」に再編されました。

盛岡地域センターでは、戸別所得補償制度による農業経営の安定化や農山漁村の6次産業化、食の安全確保などに関する業務を行っています。詳しくは問い合わせください。

自動車税のお知らせ

■問い合わせ先 岩手農政事務所総務課 ☎ 019・624・1125

◎納期限の決定

延長されていた平成23年度の自動車税は、納期限が9月30日（金）になりました。自動車税は、4月1日現在の自動車の所有者に課税される税金です。納税通知書は8月末に発送しました。納期限までに忘れずに納めましょう。

◎課税免除の申請

県では、身体障害者手帳、戦病傷者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを持ち、自動車を所有している人などで一定の要件に該当している人を対象に、自動車税の課税免除申請を受け付けています。詳しくは問い合わせください。

■場所 久慈地区合同庁舎

■受付時間 午前9時～午後5時（平日のみ）

■申請期限 9月30日（金）

■問い合わせ先 県北広域振興局県税室 ☎ 53・4986

当店オリジナル商品です！



絵陶板付き納骨堂

当店での墓石工事100万円以上で《絵陶板付き納骨堂》を差し上げます!!

店頭価格30万円の商品です。この機会にどうぞご利用ください。

墓石工事、出張文字彫刻、墓石リフォーム、耐震工事など、どんなことでもご相談ください。

百もも鳥とり石材店 本店☎ 77-2519 久慈店☎ 52-8500

こんなときは
お気軽に
ご相談ください

- ◎境界杭がなくて隣との境界がわからない
- ◎土地を2つに分割したい
- ◎宅地にしたのに地目が畑のまま
- ◎住宅を新築したが、登記していない
- ◎古い建物が未登記のまま

【不動産の表示に関する登記の専門家】

土地家屋調査士 松下宏伸事務所

【事務所】 〒028-3305 紫波郡紫波町日詰字丸盛222-1 ☎ 019-672-5020 FAX 019-672-3971

【自宅】 〒028-8802 九戸郡洋野大野8-81-7 ☎ 0194-77-4052

有料広告を募集しています

町は、町の広報紙「広報ひろの」と「町ホームページ」に掲載する有料広告を募集しています。掲載を希望される方は、役場企画課（種市庁舎）☎ 65-5912 まで問い合わせください。

	広報ひろの	町ホームページ
料金	①1号広告（縦4.5㍍×横8.5㍍程度）…5,000円、②2号広告（縦4.5㍍×横18㍍程度）…10,000円	縦58ピクセル×横190ピクセル…5,000円

※掲載期間に応じた割引制度もあります。詳しくは問い合わせください。



町のシンボル
キャラクター
「ダイちゃん」

平成23年 9月 の行事・健康カレンダー



町のシンボル
キャラクター
「マキちゃん」

日	月	火	水	木	金	土
9/1						
4	5	6	7	8	9	10
・町民体育祭(種市運動場 9:30～)	・久慈広域消費生活センター出張相談会(役場種市庁舎 13:00～16:00)	・乳児健診(種市保健センター 12:45～)	・人権相談(種市勤労青少年ホーム 10:00～15:00)	・人権相談(役場大野庁舎 10:00～15:00)	・乳児健診(大野保健センター 12:30～)	・町畜産まつり(大野地区共同利用模範牧場 9:30～)
11	12	13	14	15	16	17
・県知事、県議会議員選挙投票日(各投票所 7:00～18:00 詳しくは広報ひろの8月号14面に掲載)		・9カ月、1歳児健診(種市保健センター 13:00～)	・1歳6カ月児健診(大野保健センター 12:45～)	・町小学校陸上記録会(種市運動場 9:30～)	・町歳祝敬老会(大野体育館 11:00～)	・久慈平岳秋まつり(久慈平岳山頂広場 9:00～)
18	19	20	21	22	23	24
		・久慈広域消費生活センター出張相談会(役場大野庁舎 13:00～16:00)	・青森、岩手県境交通安全推進大会(階上町役場前ほか 13:30～)	・1歳6カ月児健診(種市保健センター 12:30～)		・町民大学「パン作り&パークゴルフ」(大野産業デザインセンターほか 10:00～)
25	26	27	28	29	30	10/1
・津波避難訓練(沿岸地区 8:00～)	・みんなでつくる夢のミュージカル「ピーター・パン」(町民文化会館 14:00～)	・特定健診、若年者健診、肺がん検診など(～30日、大野地区。詳しくは大野保健センター ☎77-3576 まで)			・国保税(第2期)納期限日	・町長杯高校野球交流大会(～2日、オーシャンビュースタジアム 9:00～)
2	3	4	5	6	7	
・町消防操法競技会(種市海浜公園 8:30～)	・特定健診、若年者健診、肺がん検診など(～17日、種市地区。詳しくは種市保健センター ☎65-3950 まで)					

種市病院の診察日程

■休日当番医 ▷内科医…9月4日(日)、17日(土)、19日(月)、24日(土)▷外科医…9月3日(土)、10日(土)、11日(日)、18日(日)、23日(金)、25日(日)

■特別診察 ▷皮膚科診察…9月1日(木)、15日(木)、29日(木) 午後1時30分～4時30分▷糖尿病診察…9月30日(金) 午後2時～ ※日程は変更になる場合があります。ご確認ください

■院長のなんでも医療相談 ▷日時…9月8日(木)、22日(木) 午後2時～3時▷受付場所…病院窓口

■出前健康講座 ▷日時…9月15日(木) 午後6時～▷場所…戸類家地区生活改善センター

☎ 国保種市病院 ☎65-2127

9月の納税期限

国保税 第2期
納期限：9月30日(金)

☎ 役場税務課(種市庁舎)
課税係 ☎65-5913

交番・駐在所だより

■キノコ採りなど山での事故防止
県内の昨年1年間でキノコ採りなど山での遭難事故は、18件20人でした。主な原因は、道に迷った、熊に襲われた、その他となっています。遭難事故の防止には、①家族に行き先、帰宅時間を知らせ早出・早帰りする ②万が一に備え、携帯電話、食料、雨具などを持参する ③熊よけの工夫をして、複数で入山し、位置確認をする ④自分の体力、健康に応じた行動をする ⑤山の恵みの収穫よりも安全第一を心がける

☎ 久慈警察署種市交番 ☎65-2133

うなばら荘への奉仕・寄贈

【奉仕】町社協はまなす会、傾聴ボランティアこころっこ、大沢婦人会、てんつく連、種市保育園

【寄贈】日澤綾子さん(二区)…生け花、谷地頭幸子さん(中野南区)…タオル36枚、川端徳一郎さん(城内)…タオル10枚、吹切安男さん(宿戸)…タオルほか64点

戸籍の窓口

平成23年7月届け出分(敬称略)

☆お誕生おめでとう

子どもの名前	父	母	地区
伊藤 凛	(友和・みゆき)	川 尻	
角川 晴輝	(将章・鮎子)	角 浜	
村田 宗祐	(一也・千鶴)	住吉町	
館石 梨乃	(晃隆・久美子)	住吉町	
大粒来 菜々	(利彦・美穂)	中野南区	
濱渡 悠生	(和也・美子)	水 沢	
” 佳愛	(”)	”	
堤内 みずか	(靖典・照美)	長 代	
上野 明日咲	(誠・佳子)	向明戸	
太内田 紅羽	(貴広・結美)	泥 澤	

♡ご結婚おめでとう

(信 田 勝 司)	(平 内)
(佐々木 沙 織)	(下 組)
(佐々木 国 博)	(緑 町)
(三 浦 伸 子)	(宿 戸)
(大 津 俊 浩)	(神奈川県横浜市)
(下川戸 美 幸)	(城 内)
(横 手 弘 道)	(大 谷)
(館 和 美)	(青森県八戸市)
(中 家 達 也)	(八木北町)
(川 崎 恵 美)	(青森県青森市)
(中 村 祐 太)	(水 沢)
(小 倉 晴 佳)	(弥 栄)

■ごめい福をお祈りします

小 山 清 一	(三 区・85歳)
久保田 よしゑ	(伝 吉・92歳)
畑 川 未 松	(小子内・85歳)
久保田 シ ヱ	(伝 吉・97歳)
川 尻 市太郎	(川 尻・91歳)
續 石 鐵 男	(八木南町・75歳)
村 山 信 一	(一 区・86歳)
下川戸 トミエ	(城 内・82歳)
長 坂 ユ リ	(小子内・79歳)
中 村 卓 夫	(有 家・73歳)
澁 谷 チ ヨ	(向上川原・99歳)
柳杭田 ハツエ	(苗代沢・91歳)
館 市 吉 藏	(館 山・75歳)
三 郷 時 男	(上明戸・80歳)
極 木 吉 郎	(大野中区・82歳)
石 橋 ヨ シ	(金ヶ沢・97歳)
沼 田 由 松	(二ツ屋・95歳)

※ このコーナーへの掲載を希望しない人は、届け出の際にお申し出ください。

「広報たねいち縮刷版」販売中

■収録内容…昭和39年1月号～平成17年12月号までと特別号など
■価格…上・下巻とも、1冊2,000円
■購入方法…下記問い合わせ先まで直接お越しください
■購入・問い合わせ先…役場企画課(種市庁舎) ☎65-5912、ファクス65-4334



まちの動き・データ(平成23年7月分)

【人 口】

(7月末現在、()は先月比)
総人口 19,094人 (- 4人)
男 9,240人 (- 5人)
女 9,854人 (+ 1人)
世帯数 6,854世帯 (+ 6世帯)

【火災・救急】

(()内は1月からの累計)
火 災 1 件 (8 件)
救 急 51 件 (298 件)

【交 通】

(()内は1月からの累計)
死 者 0 人 (0 人)
人身事故 3 件 (19 件)
負 傷 者 3 人 (25 人)
物損事故 12 件 (93 件)
飲酒運転 0 件 (3 件)

◎飲酒運転検挙状況(H22.8～H23.6)
県内 34 市町村中、ワースト 8 位
(県交通安全対策協議会調べ)

第6回 パークゴルフ「孫カップ」開催!!

おじいちゃん!おばあちゃん!かわいいお孫さんと一緒に、『パークゴルフ』を楽しみませんか?

■日時：9月23日(金) 午前9時～
■場所：大野パークゴルフ場
■参加対象者：祖父母と小学生のお孫さんのペア

■参加料：2,000円(1組2人分、ランチバイキング料金込み)
■申し込み・問い合わせ先：グリーンヒルおおの ☎77-2266

新聞が、教科書になる時代。

購読のお申し込みは…
(有)瀧屋 ☎77-2546・fax77-4188

「新聞の活用」を盛り込んだ新しい学習指導要領が小学校で実施されました。2012年度からは中学校でも実施されます。お子さんに新聞を読む習慣と環境を作っておませんか?

＝ 取り扱い新聞名 ＝
岩手日報、デーリー東北、朝日、読売、毎日、日経、河北、小・中学生新聞、各種スポーツ紙 ほか

第2回
「デーリー東北新聞感想文コンクール」締切は9月28日(木) 応募はお早めに。



⑥



⑦



⑧



⑨



①



②



③



④



⑤

① 小児内地区センターで行われたウニの殻むき体験
② 種子市高校の見学では「南部もぐり」の潜水服を着て重さを実感
③ 海に足を入れるだけのはずが、シャツまでずぶ濡れに
④ 別れを前に、全員で記念写真
⑤ 防潮堤の上で小児内浜漁協の職員から津波の驚異について説明を受けた
⑥ 小児内浜漁協のウニの殻むき作業を見学
⑦ 松橋孝夫さん宅で魚さばきに挑戦
⑧ 中居福太郎さん宅でのバーベキュー
⑨ 最終日、お世話になった畑川豊子さんとの別れを惜しみ、思わず涙がこぼれた



中屋敷春花ちゃん(4年)



権谷稷利くん(3年)



上岡谷勇人くん(3年)



下平駿くん(3年)



西晴菜ちゃん(3年)



旭岡龍明くん(5年)



権谷可奈人くん(5年)



橋本汐比奈ちゃん(3年)



間澤悠大くん(3年)



中下葵ちゃん(4年)



日影浩也くん(6年)



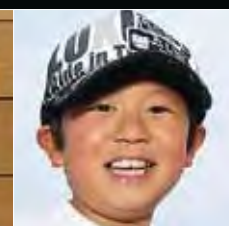
関向芽衣ちゃん(6年)

23

人



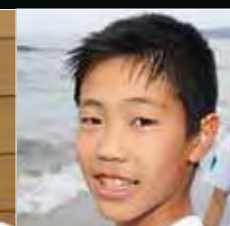
宇名澤悠太くん(5年)



夏井恵汰くん(5年)



竹高優介くん(4年)



柳杭田昂大くん(5年)

全

員

が



水上直人くん(5年)



西亮馨ちゃん(5年)



澤口雅功くん(6年)

主

役



林郷瀬くん(3年)



中屋敷若菜ちゃん(4年)



林郷龍生くん(5年)



下平千尋ちゃん(5年)

ヒ

ー

口

ー

の

旅

で、一喜一憂しながら作業に取り組みました。また、小児内地区センターで3月に発生した津波の映像を視聴した後、海岸清掃を行いました。

再会を誓って涙の別れ

最終日、小児内地区センターで行われた退村式で児童たちは、3日間寝食をともにした家族に涙ながらに「また会いに来るからね」と別れを惜しみました。

林郷小に戻ってからは振り返りミーティングが行われ、一人ひとりが旅で学んだことや反省点を発表。3日間てたくさんの思い出を作った児童たちは、目を輝かせながら旅を振り返りました。

町外からも受け入れを

今回の教育旅行を実施した「海と高原のまち・ひろの体験交流推進協議会」の久保田唯会長は、「種子地区の受け入れは初めてだったが、受け入れ民家の人たちも楽しむことができたようだ。今後は受け入れ民家の拡大を図り、町外からの受け入れも進めたい」と民泊推進への意欲を新たにしました。

海辺での暮らしを体験

林郷小学校(菊地文哉校長・児童32人)の3、6年生の23人は7月26、28日、2泊3日の日程で教育旅行「ヒーローの旅」を行いました。

大野地区の小学校で初の「ヒーローの旅」は、山間の林郷地区で暮らす児童たちが、小児内、宿戸地区で海辺の暮らしを体験する内容。6月27日には準備ミーティングが行われ、児童たちが自分たちで旅の「目標」や「決まり」を決めました。

一喜一憂した初の体験

1日目は、役場種子庁舎と種子高校を見学。南部もぐりの実演を見学するなどして町の施設や歴史について学びました。夕方には、小児内地区と宿戸地区の民泊先の人たちと初顔合わせ。その後、6軒の民泊先に移動し家族たちと交流を深めました。

2日目は、小児内浜漁協によるウニの出荷準備を見学した後、ウニの殻むきに挑戦。民泊先に戻ってからは、魚さばき体験も行われました。ほとんどの児童が初めての体験

四季

shiki-sai

彩

hirono

【51】



緑のカーテン

■撮影日 平成23年8月19日
■撮影地 大野地区仲町交差点

震災の影響もあり、節電や省エネの重要性を再認識させられたことしの夏、町内のいたるところで「緑のカーテン」を見かけます。

「緑のカーテン」は、遮光や断熱を目的として、窓などを主にする植物で覆うもので、「よしず」や「すだれ」などと同じような効果が得られますが、植物ならではの鑑賞や収穫という楽しみ方があります。

向いている植物は、アサガオやキュウリ、トマトなどで、最近では、比較的病害虫に強く栄養価も高いことなどからゴーヤ（ツルレイシ）も人気とのこと。楽しみながら「省エネ」するのが最近の流行のようです。

表紙のお話

種市地区の灯籠流しは昭和44年から始まり、ことしで42回目を迎えました。海に浮かぶ数々の灯籠が、淡い光を放ちながら水面を揺らすのを見て、「夏の終わり」を感じる人も多いのではないだろうか。



編集後記

▽夏まつりの季節。種市は炎天下、大野では2日間、雨に見舞われました。取材する側でもヘトヘトなのに、出演する皆さんはもっと…。まつりで町を盛り上げ元気してくれた皆さん、お疲れ様でした。（糸坪）
▽今月は、さまざまな「祭」を取材しました。にぎやかで楽しい雰囲気伝わればと思います。写真もカラーページも多めです。今月も一段落したので僕は、油多め、麺硬めのラーメンを食べに行こうと思っています。（滝口）